

オススメ



## 孝顕寺

Temple  
寺 廟

### 朱塗りの美しい三門

境内東側の入り口は日本庭園のように美しい庭と石畳が目を引き境内に入ってまず目を奪われるのは、なんといっても三門（山門）だ。朱塗りの美しい姿は見るものを引き付ける存在感がある。この門には、秀康に関わる結城家、松平家（家康本来の家）、結城家の後に結城を支配した水野家の三家の家紋が彫られている。さらに門の上層部には三体の仏像が安置されていて、結城の歴史を感じるこができる。



また、この寺は桜、梅の名所としても知られるが、三門の横にある路地もおすすだ。この路地の脇にはあじさいが植えられており静謐な彩りを添える。普段はあまり目立たないが梅雨の季節になると桜、梅とはまた違った美しさを見せてくれる。



朱色が映える三門



日本庭園の様な入り口

オススメ



## 安穏寺

### 和尚の不思議な伝説

元は奈良時代に建てられた律院の寺だったが、室町時代に、九尾の狐を倒したことで有名な源翁和尚によって禅宗に改宗された。この寺の見所はなんといても境内入り口の楼門だ。この門には、九尾の狐を退治した源翁和尚にちなみ、狐にとりつかれたらこの門をくぐれば治るといわれる逸話が残っている。また、この寺には和尚が用いたといわれる「数珠」や「弘子」が伝わっており県の文化財に指定されている。近くにある和尚の墓にも訪れてみるのも良ろう。



境内入り口の楼門

オススメ



## 称名寺

### 百日紅の境内

鎌倉時代初期に結城家初代朝光が親鸞聖人の高弟・真仏を招いて建立した浄土真宗の寺。市文化財の二条門、御霊屋門（みたまやもん）をくぐると右手に百日紅（さるすべり）の木があり8月から9月にかけて花を咲かせる。その脇の門をくぐると本堂がある。親鸞聖人の銅像に見守られた本堂は、木々に囲まれ神秘的な雰囲気漂わせる。寺には結城家の初代朝光から四代時広までの墓がある。また、親鸞聖人直筆の「往生要集」が伝わり県の文化財に指定されている。



市文化財の二条門、  
御霊屋門（みたまやもん）

オススメ



## 光福寺

### 御朱印堀

Temples  
寺 廟

真言宗豊山派の寺。本堂の梁の部分に立派な龍の彫刻がある。敷地の大部分は墓地であり、明治期の動乱に関わった結城藩江戸詰家老・水野甚四郎や政府軍参謀・植田楠次郎のほか、政府軍と対峙した会津藩兵士たちが眠っている。寺の西側には、戦国時代に作られ、県指定史跡となっている「御朱印堀（ごしゅいんほり）」の一部が残る。また、境外仏堂の毘沙門堂本尊の「毘沙門天立像」は市指定文化財となっている。



御朱印堀（ごしゅいんほり）  
の一部が残る